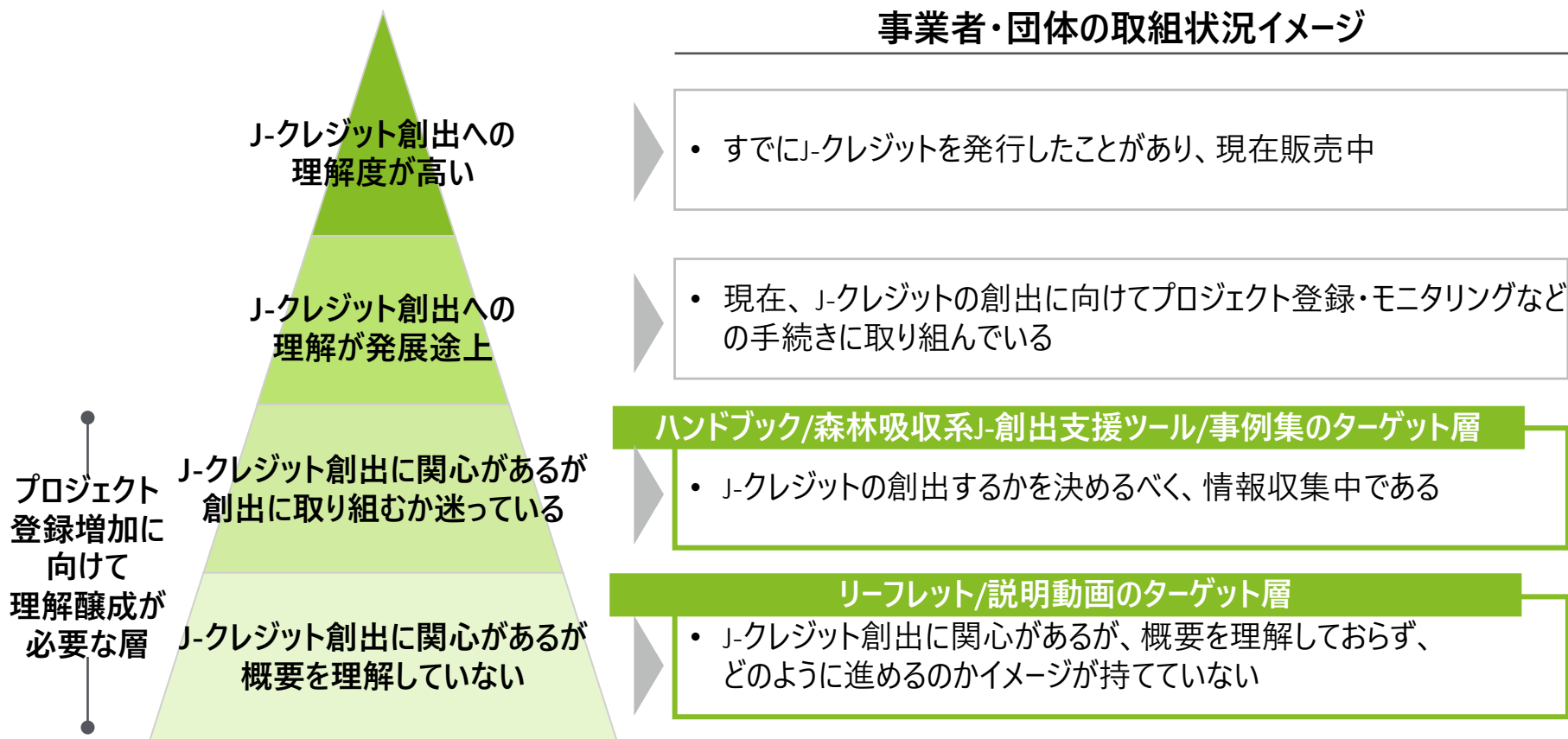


**森林シンポジウム
事例集及びポータルサイトの紹介**

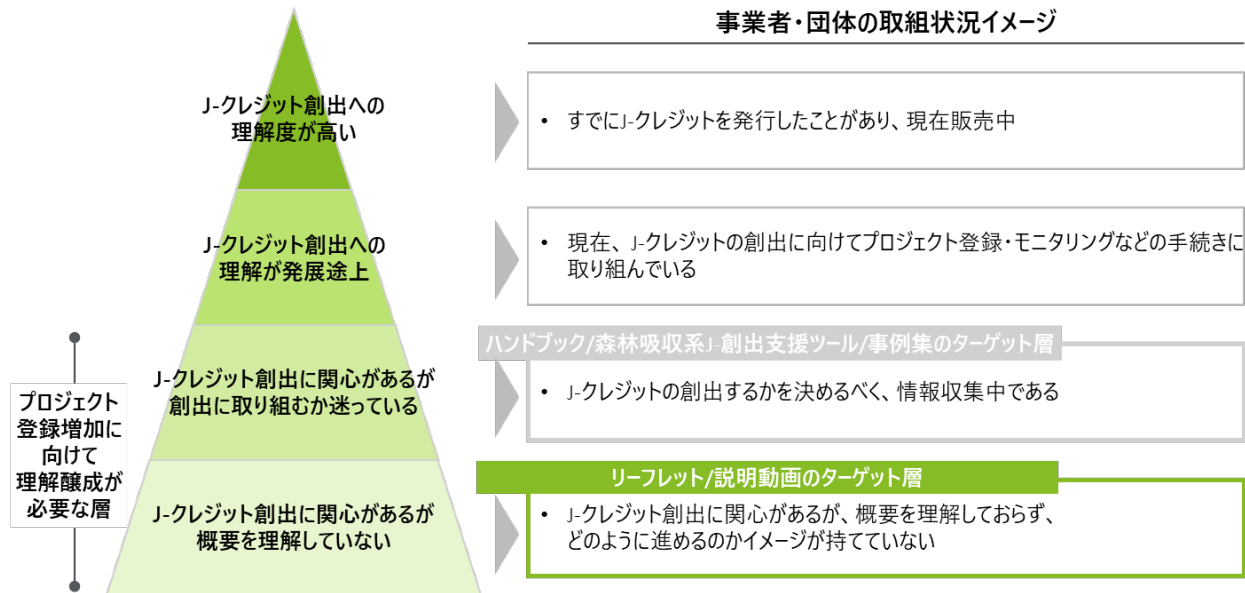
2024年2月28日(水)

森林吸収系J-クレジットの創出に関心がありプロジェクト実施を検討中の方や概要について理解が進んでいない方向けに、クレジット創出拡大のツールを作成しました

J-クレジット創出者・潜在創出者の理解度の整理



森林吸収系J-クレジット説明動画 のご紹介



森林吸収系J-クレジットの概要について理解が進んでいない方向けに、森林吸収系J-クレジットの概要についての説明動画を提供します

森林吸収系J-クレジット説明動画（1/3）

目的

- 森林吸収系J-クレジットの創出に興味をもった事業者向けの導入資料の一つとして、森林吸収系J-クレジットの概要をわかりやすく説明するとともに、ペーパーベースの資料ではわかりづらい事項をフォローする

動画コンテンツ

タイトル	内容
J-クレジット制度とは	<ul style="list-style-type: none">J-クレジット制度および森林吸収系J-クレジットの紹介
クレジット創出の要件、手続き	<ul style="list-style-type: none">クレジット創出の適用条件、クレジット創出の流れ、クレジット算定対象やクレジット創出量のカウントの仕方
クレジットの販売	<ul style="list-style-type: none">クレジット販売方法、クレジット販売後の環境価値の取り扱い

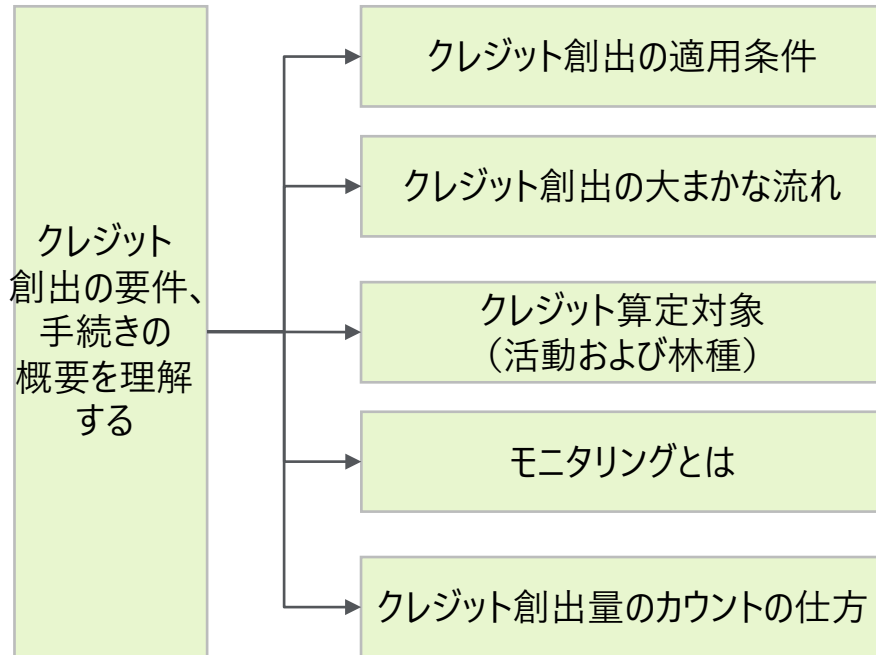
クレジットの創出の要件や手続きを理解いただけるように、クレジット創出の大まかな流れを示すとともに、クレジット算定対象やモニタリング、クレジット創出量のカウントについて解説します

森林吸収系J-クレジット説明動画（2/3）

現状

- 森林吸収系J-クレジットはプロジェクト登録やクレジットの認証申請における手続きが複雑であり、潜在創出者は、クレジットの創出の要件や手続きについて理解を進めるのに苦労している

クレジット創出の要件、手続きで紹介するコンテンツ



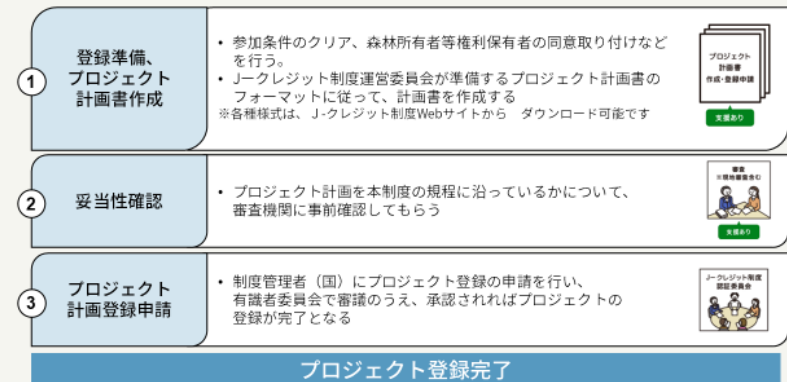
動画イメージ（一部）：プロジェクト登録までの流れ

わかりづらいクレジット創出に関する事項をわかりやすい言葉で簡単に説明

Image

J-クレジット制度とは → クレジット創出 → クレジットの販売

プロジェクト登録の段階では、森林経営計画の作成など参加条件のクリアや、森林の権利保有者への同意取り付けを行った上で、吸収量の見込みを示した計画を作成します。第三者審査機関にその妥当性を確認してもらい、国の有識者委員会で審議・承認されれば、プロジェクト登録完了です。



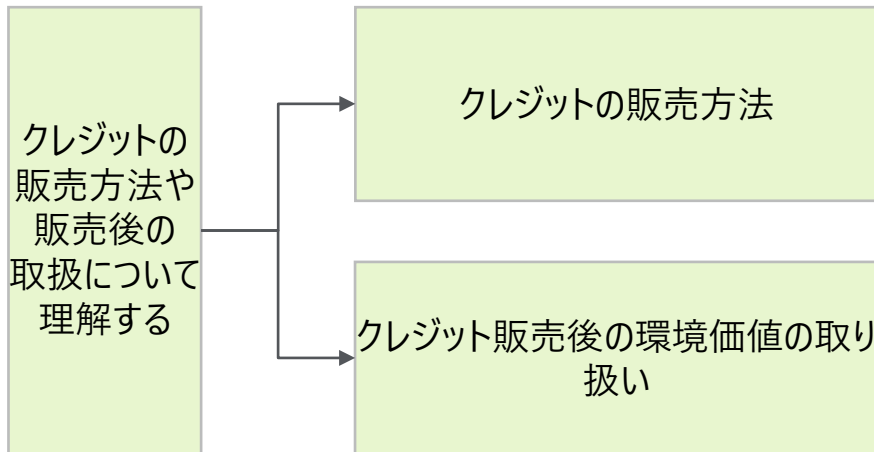
クレジット販売についての概要を掴めるように、販売手法や販売後の環境価値の取り扱いについて説明しています

森林吸収系J-クレジット説明動画（3/3）

現状

- J-クレジット（森林吸収系J-クレジット）は相対取引が中心であるため、クレジットの取引形態や環境価値の扱いが見えづらい

クレジットの販売で紹介するコンテンツ



動画イメージ（一部）：クレジットの販売方法

どのような取引形態があるか等を表や図で提示

Image

J-クレジット制度とは → クレジット創出 → クレジットの販売

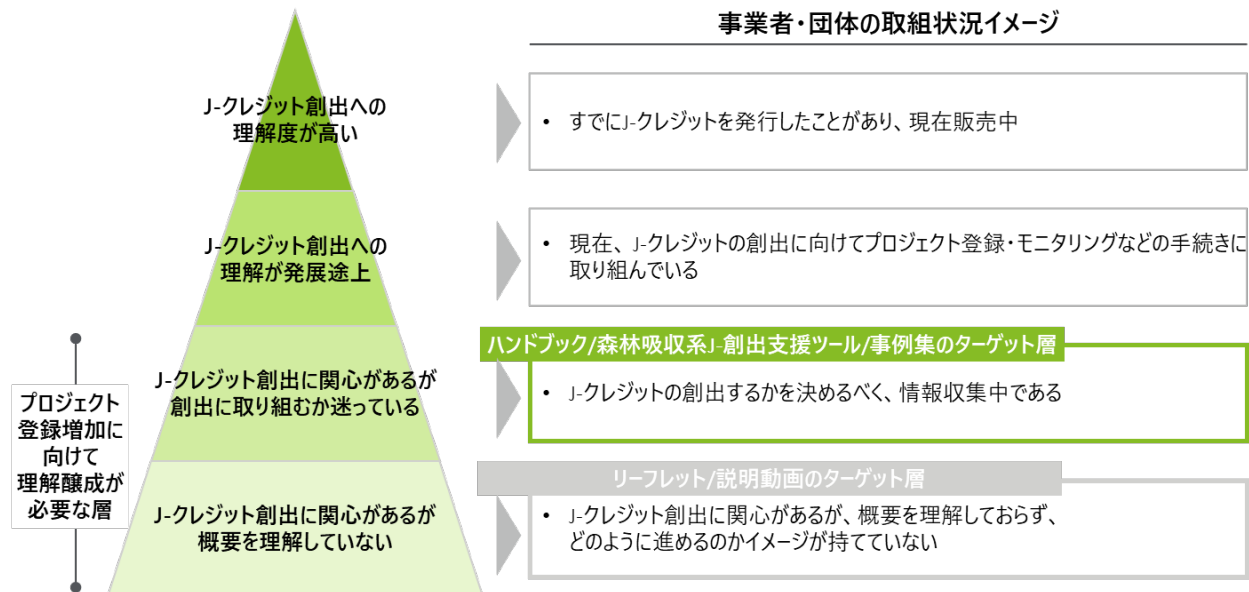
創出したクレジットを販売する方法は大きく4つあり、創出したクレジットを販売することで、はじめて収益を上げることができます

販売方法		具体的な内容
相対取引	J-クレジット制度HPを利用	J-クレジット制度HP上の「売り出しクレジット」の一覧に、認証済み（予定）のクレジット情報を掲載する。 https://japancredit.go.jp/sale/
	仲介業者を利用	制度管理者により登録されたJ-クレジット・プロバイダーなど、J-クレジットの売買を支援する事業者を通じて取引を実施する。 ※J-クレジット・プロバイダー（2023年11月現在で登録されている事業者） ※登録プロバイダー以外にも、地方銀行、民間コンサルタント、民間企業によるカーボン・クレジット取引オンラインプラットフォームなど、様々な取引仲介サービスがある。
	自ら販売先を探す	創出者自身のネットワークの活用や、HPへの掲載等により、販売先を募集する。
市場取引	カーボン・クレジット市場等を利用して取引を実施する。 ※令和5年10月に東京証券取引所のカーボンクレジット市場が開設。そのほかにも、市場開設の動きがみられる。	

【動画のご紹介】

森林吸収系J-クレジットの 概要についてのご紹介

森林吸収系J-クレジットハンドブックのご紹介



森林吸収系J-クレジットの創出を検討されている方向けに、必要な手続やクレジット創出の際の注意事項などをできる限り分かりやすく解説したハンドブックがあります

森林吸収系J-クレジットハンドブック

現状

- 森林クレジットを創出するため森林管理プロジェクトに参加したいが、まずどこから手を付けていいか分からないという潜在創出者も多く存在している

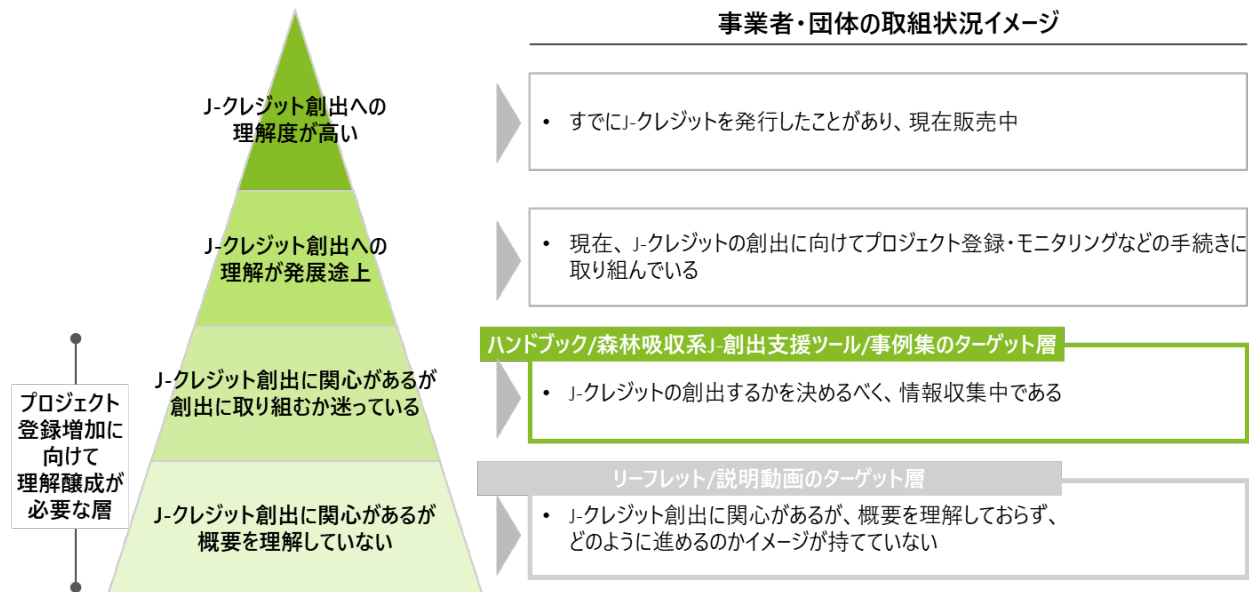
目的

- J-クレジットの創出に初めて取り組む森林・林業関係者に向けて、必要な手続やクレジット創出の際の注意事項などをできる限り分かりやすく解説することで、J-クレジット創出に取り組む心理的ハードルを下げる

森林吸収系J-クレジットハンドブックのコンテンツ

タイトル	内容
第1章	森林管理プロジェクトに参加するためのポイント
第2章	方法論FO-001（森林経営活動）の実施手続～ステップ・バイ・ステップ～
第3章	吸収量の算定方法とモニタリング方法
第4章	プロジェクト実施者の義務
第5章	クレジットの販売と活用

森林吸収系J-クレジット創出支援ツールの ご紹介



森林吸収系J-クレジットの創出を検討されている方向けに、クレジット創出量の見込みを簡便に把握できるツールを作成しました

森林吸収系J-クレジット創出支援ツール

現状

- クレジット創出量がわからず、クレジット創出によってどれだけの経済的メリットを得られるかわからないため、クレジット創出に意欲が湧かない
- J-クレジット申請用Excelシートは複数のシートを手入力することが必要であり、入力に工数を要する
- 森林吸収量算定シート（林野庁公表）はJ-クレジットの方法論に則していない

目的

- 創出者のクレジット創出の意欲を高め、プロジェクト登録を増やすために、おおよそのクレジット創出量を簡便に算定できるツールを提供する

森林吸収系J-クレジット創出支援ツールの構成

シート名	入力要否
入力方法説明	—
吸収量・排出量の集計	—
施業・保護による吸収量・排出量算定シート	要
樹種別材積表table	要
伐採木材による吸収（固定）量	要
各種参照用シート	—

森林吸収系J-クレジット創出支援ツールの特徴

地位の入力が不要

- J-クレジット申請用Excelシートは複数のシートでは入力が必要だが、本シートでは入力不要

再造林による吸収量のカウントに対応

- 「標準伐期までの期間の吸収量を一括計上」「認証対象期間までの吸収量を毎年カウント」のいずれかを選択可能

伐採木材の固定化による吸収量のカウントに対応

- 出荷量（目安）を入力するだけで伐採木材の固定化による吸収量をカウントすることが可能

上記に対応しつつ、最小限の入力項目で簡便に算定可能

林野庁のJ-クレジット制度ページにて、各種ツールを公開しています。 ぜひご活用ください

各ツールの公開

林野庁

English ミツズサイト サイトマップ 文字サイズ

標準

大きく

逆引き事典から探す

キーワードから探す

Google 提供

検索

林野庁について

お知らせ

政策について

申請・お問い合わせ

国有林野情報

ホーム>分野別情報>J-クレジット制度

J-クレジット制度



最新情報 New!

「森林経営活動方法論（FO-001）よくある質問（FAQ）」を公表しました！→[こちら](#)からご覧ください。
「森林由来J-クレジット創出者向けハンドブック」を公表しました！→[こちら](#)からご覧ください。

1. J-クレジット制度とは

J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や森林経営などの取組による、CO2等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度であり、農林水産業者の皆様も活用できます。なお、本制度は、環境省・経済産業省・農林水産省により運営しております。

本制度を活用してクレジットを創出し、また、創出されたクレジットの活用を通じ、地球温暖化対策への積極的な取組のPRを行うことや、クレジットを企業等へ売却することで、売却益を得ることができます。

- ・[J-クレジット制度の概要](#)  [外部リンク]
- ・[プロジェクト登録一覧](#)  [外部リンク]

End of Materials